

# ヴェールルージュ美容専門学校 自己評価結果報告書

自己評価：令和2年3月19日実施

<b>【総評】</b>	5 完全にできている
	4 おおむねできている
	3 普通
	2 できていない部分がある
	1 改善が必要

## 1. 教育理念・目的・育成人材像

	点検・評価項目	自己評価	自己評価結果
①	教育目的、育成人材像は、学科等に対応する業界ニーズに向けて方向づけられているか	5	建学の理念である「即戦力育成」のため、常に時代や業界のニーズに呼応したカリキュラムを企業と協同し改編している。美容業界のトレンドを見通し、適宜新たな授業を取り入れることで最先端の技術習得を目指している。
②	学校における職業教育の特色は何か	5	現役プロ講師による時代や職業現場に即した実践的なカリキュラムや授業のほか、実践力や人間力を育むための体験型実習や行事を数多く取り入れていること。
③	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	教育理念や方針は、学生便覧に明記。表記の語句の解釈の難しさもあるので生徒には入学後に直接説明し指導。保護者には入学前に書面にてご案内し、周知徹底している。

## 2. 学校運営

①	目標に沿った事業計画が策定されているか	4	期末の運営会議において計画の見直しを実施し、次期計画策定に向け改善策を検討している。
②	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	組織体制に基づき、学校体制が明確にされており、意思決定においても速やかに行われている。今後もより迅速な意思決定による学校運営を継続させる。
③	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	数年前から推進をしている IT 化により、業務の効率化が図られている。ホームページに卒業生専用ページを設けたので、今後、活用発展をさせていく予定である。

## 3. 教育活動

①	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	5	厚生労働省指定規則に則って編成しており、規則通り確実に遂行できている。
②	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが行われているか	5	美容師養成施設標準カリキュラム変更のため、平成 30 年度よりカリキュラムが大幅に変更しているが、当校の教育方針である「実践教育の実施」を基に編成をおこなった。後援会サロンにご協力頂き、フォトセッションの実施等、新しい取り組みも取り入れている。校外活動の機会が少なかったことが反省点である。
③	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	5	教育課程編成委員会を年 2 回、学校関係者評価を年 1 回実施し、意見や提案を参考にしてカリキュラムを検討・編成している。
④	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5	基準は明確であり、学則に記載されている。

⑤	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	5	国家資格である美容師免許取得を目的としたカリキュラム編成となっている。試験対策講座や合宿・延長授業等を実施し、資格取得に万全の体制を整えている。美容師免許以外の資格取得も可能であり、一部説明会や対策授業を実施している。また、毎週木曜日の放課後に部活動を実施し、技術力向上に努めている。
⑥	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	厚生労働省指定の専任教員資格要件を備えた教員を必要数確保している。教員には外部団体主催の研修参加機会を付与し知識・技術向上に努めている。またアイラッシュ指導者の資格取得のため研修会への参加を予定している。

#### 4. 教育成果

①	退学率の低減が図られているか	3	引き続き、出席状況や受講態度などに問題があった場合、各教員から学科長へ報告の上、必要に応じて個別面談を行い速やかに対処している。長期欠席等の問題のある学生は、保護者や臨床心理士とも連携しながら指導に当たり学業への復帰を促している。「相談・解決しやすい環境作り」の一環として平成30年度よりカウンセラーを1名増員し、学生からの相談件数は増えているが、退学率の低減には至らず引き続き重要課題となっている。
②	就職率の向上が図られているか	5	担任教員、キャリアセンター、学校後援会が連携して、各種ガイダンスや研修、親睦会などを独自に開催し就職活動を全面バックアップ。ミスマッチを防ぐため、個人面談を丁寧に行い個性や希望条件に合った就職先のアドバイスをしている。就職率の向上を目指し月別内定目標を設定し、月ごとの結果を取りまとめ、教職員内で共有化している。
③	資格取得率の向上が図られているか	4	美容師国家試験合格率100%を目標として、学生一人ひとりへの個別指導や対策講座・合宿の実施を昨年度同様、引き続き実施。一定レベルに到達していない学生を対象に延長授業も取り入れている。国家試験以外の取得についても、対策授業を実施し、合格率の向上に努めている。

#### 5. 学生支援

①	社会人ニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	5	大学・短大の既卒者に向けた学費支援制度を設けている。
②	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	5	担任教員、キャリアセンター、後援会が連携して、各種ガイダンスや研修、親睦会などを独自に開催しながら就職活動を全面的にバックアップしている。ミスマッチを防ぐため、個人面談の機会を頻繁に実施している。また卒業生等からの情報を有効活用し、内定率向上に注力した。令和元年度は美容部員向け合格対策授業も実施した。

③	学生相談に関する体制は整備されているか	4	担任が窓口となり学生相談に対応することが多いが、場合に応じて、副担任や学年主任等も対応をしている。その他、校内にカウンセリングルームを設置し、昨年度よりカウンセラーを1名増員し、2名体制で定期的に学生相談に対応している。また、身体に関する悩みや緊急を要する怪我などについては、学校長（医師）が対応している。
④	学生の経済的側面に対する支援制度は整備されているか	4	日本学生支援機構、日本政策金融公庫などの公的制度の他、学校独自の奨学制度を設けている。（奨学金を活用した学費の分割払い制度や特待生制度等）学内の学費相談デスクに学費アドバイザーを常駐し、学費・奨学金に関する相談体制を整えている。また令和2年度より開始される修学支援新制度の支援対象校となっている。

## 6. 教育環境

①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備している。メンテナンス体制も整備しており、一部老朽化が進んでいる箇所については、随時補修している。
②	学校外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	5	学外実習については、毎年11～12月に希望者に対し海外研修を実施し、世界レベルのトップアーティストから学べるニューヨーク、ロンドン等での学校独自企画のプログラムを用意している。ニューヨーク研修は内容の見直しをして、世界レベルのカメラマンとのコラボレーションが実現した。
③	防災に対する整備はされているか	3	防火管理規程、校舎管理規程を定めて体制を示し、防火訓練等を実施している。災害時対応マニュアルを作成して教職員及び非常勤講師へ周知している。

## 7. 学生募集と受け入れ

①	学生募集活動は適正に行われているか	5	教育機関として節度ある学生募集活動を行っている。特にAO入試は保護者または高校教員の承諾を必要とし、安易な合格内定による囲い込みは一切行っていない。オープンキャンパスでは対応職員を増やし、志望者の要望に合わせて個別対応を行い、正確な進路の指針を示すよう努めている。遠方にお住まいの方を対象に現地入試を継続実施。その他、2020年度よりネット出願も可能となり受験者の負担軽減に努めている。また、高校側のスケジュールに合わせ必要書類を依頼し安心を得ている。
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5	国家試験合格率や求人倍率・就職内定率等のデータについては、最新の数字を学校案内パンフレットやホームページ等に公表している。卒業生の現場での就業状況等についても、事実を正確に伝えている。

③	学納金は妥当なものとなっているか	4	おおむね妥当な金額となっている。入学後に必要な教材費等の追加費用についても、別途冊子を作成し、正確な金額を明示している。
---	------------------	---	--

## 8. 財務

①	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	おおむね妥当と判断している。
②	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	入学生定員確保に至り、財務基盤は安定する見込み
③	財務について会計監査が適正に行われているか	5	適正に実施している。

## 9. 法令等の遵守

①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営が行われているか	5	法令、設置基準等に関してはそれらを遵守したうえで、適正な運営がなされている。
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	資料請求者、受験者、学生や卒業生および教職員等、学校が保有する個人情報に関し、管理システムのパスワードは定期的に変更している。また個人情報保護委員会を設置し、保護のための対策がとられている。
③	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	教職員会議、学年会議、営業会議等を通じて常に自己点検を行い、問題・課題を早期に発見し、随時協議を行い対処している。平成 25 年からは、学校関係者委員会を平成 26 年度から教育課程編成委員会を設置し外部関係者の意見も積極的に反映するよう努めている。

## 10. 社会貢献

①	学校の教育資源を活用した社会貢献を行っているか	5	開校当初より社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。チャリティや業界団体をはじめ、海外美容学校の研修受入れなど分野枠を超えた活動を実施している。チャリティ参加及び韓国美容学生の研修受入れは定例化しており、令和元年度も実施した。
②	生徒のボランティア活動を奨励・支援しているか	5	生徒の社会貢献に対する意識向上のため、高齢者への美容サービス、児童養護施設のイベント協賛など授業や学校行事にも取り入れている。生徒が自ら行う活動についても日常的に奨励・支援している。また学校周辺地区の活性化として、地域商店街の通行客に向けたイベントにてメイクサービス等を実施。こちらも定例化している。

## 11. 国際交流

①	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	5	教職員が生活・コミュニケーションや在留手続きの管理までサポートしている。また、日本人学生数名が個別に勉強や生活をサポートする体制を整備している。令和元年度は留学生 1 名が在籍、次年度 1 名の受け入れ予定となっている。
---	-----------------------------------	---	--

②	受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等が取られているか	5	取次申請者が留学生の状況を個別に確認し、必要に応じ手続きを代行している。
③	グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか	5	開校よりグローバル人材の育成を行ってきた結果として現在複数の卒業生がロンドン、ニューヨークなど世界の主要都市で美容師やヘアメイクアーティストとして活躍している。海外研修の際にイギリスで活躍中の卒業生との懇親会を開催し、将来海外で活躍することを目標としている学生へ情報提供を行っている。